

宮城県・県石商など11団体と意見交換 災害時の物流円滑化へ

課題は「発災後3日間」



県と協定先が支援の円滑化に向けて話し合った意見交換会

災害時の物資供給・物流支援に関して宮城県と協定を結んでいる宮城県石商(佐藤義信理事長)など11団体と県との意見交換会が2日仙台市で開かれ、災害時の支援に備えて情報交換した。

石油機器の利点アピール

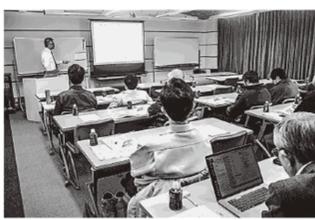
秋田 石連と横手市長へ提言



高橋市長(左)にあいさつを述べる横田支部長

秋田石商(西村紀一)導入すれば災害時に住居生活を守れ、地元中小Sへの支援にもなる。災害を強くコスト優位性もある石油機器システム推進室長は、東日本大震災後に業界と国が一体になって安定供給体制の整備を進めた。あいつで同石商の横田守博手・平野支部長は「全国ではSS過疎が深刻化している。ヤリが灯油の優位性や公共施設に石油機器を災害への強さを紹介したうえで、

建築関係企業対象に 会津若松でセミナー



セミナーでは温水パネルヒーターの良さが紹介された

住宅建築業者や設計士を対象とした石油連盟主催の「石油暖房セミナー」が先ごろ会津若松市で開かれ、灯油式の温水パネルヒーターの優位性や導入時の留意点が紹介された。エネルギーアドバイザーの上がらぬ点、作動音

ザの細川高夫氏が「温水暖房の魅力と計画」と題して講演。パネルヒーターなど放射式暖房の長所として、温度が低くても快適に感じることも温風が出ないためほこりが舞い上がらない点、作動音

宮城県 カメイ、損保と連携協定 災害対応など協力



協定を結んだ村井知事(中央)とカメイ社長(左)、損保社長(右)

宮城県とカメイ、損害保険ジャパン日本興亜は先ごろ、災害対応や地域活性化で協力する連携協定を結んだ。カメイは災害発生時に石油などを供給するほか、損保ジャパンがドローンで被害状況を調査する際に県内の営業拠点を調査拠点として場所を提供する。

東北支局(12仙台市青葉区三好)02(92)1997

京都・滋賀 青年部が合同研修会

ネット通販の現状など学ぶ



ネット通販の現状など学ぶ

京都石商青年部清水の会(吉田隆会長)と滋賀石商青年部近江末来会(芝野節郎会長)は、そのほかに、大津市内で合同の研修会を開催した(写真)。会合では三菱商事エネルギーのグループ会社・カーフロンティアから担当者らを迎え、業務用自動車用品のインターネット通販サイト「アナサール」の解説を受けた。同サイトはSS事業者であれば、系列問わずに加入することが可能となっている。

同会はネット通販にせず、価格比較も容認として、大手カー用品市場は成長し続けている。易なことから利便性がの決定を参考に「市場が、品揃えも豊富で規模は変わらないうち、特に消費者の購買行動は変化する中心がデジタル化しており、店頭からデジタルネイティブではなく、ネットでの世代(生まれ)と置き換わりつつある。小売店舗は今後、ネットとの関係、後、シヨールは、ネットを取り付け、いまは屈辱だったのが、いまの時代はそうも言えない。時代の変化に合わせることが必要」と述べた。

近畿支局(大阪府東淀川区4-19)06(6362)2917

SS事業進捗状況を点検 課題は利用率向上

奈良県のかかわらうちわを活性化させた早期の告知活動の成果や、パイロットの配分体制を目的とした「第4回SS事業進捗点検」が2日、奈良県内各地で開催された。同会では、各事業所から進捗報告書が提出され、点検結果が発表された。課題は利用率向上と、ネット社会への対応が挙げられた。

が生まれるはずだ」と述べた。横田支部長は「東日本大震災時、県には石油機器の活用が、SSが活用、灯油も使われないのでは社会が成り立たないだろうから、安心安全の面でも石油機器を積極的に活用してほしい」と語った。

「単純に改造できないため、導入時に施主の家族からライフスタイルを詳しく聞いて、パネルの設置場所や面積を決めてほしい」と指摘。また、家族構成が変われば、また変わるため、数年先まで将来を考慮して設計を」と述べた。

大阪キャンピングカーショー

関西最大級のキャンピングカーの総イベント・大阪キャンピングカーショー2018(テレビ大阪主催)が10月11日の間、インテックス大阪(大阪市住之江区南港北1丁目5-1102)で開催される。

イベントではミニバンやワゴン、軽自動車を改造した車種だけでなく、大型トラックやトレーラータイプなど、国産や輸入車まで幅広く様々な種類170台以上が一堂に集まって展示・販売されるほか、関連用品やパーツの展示も行う。関連情報発信コーナーなど盛りだくさんの内容となっている。また、ステージイベントとして有名芸能人によるトークショーやダンス大会など、大人も子供も楽しめるように趣向を凝らしている。

問い合わせはテレビ大阪事務局(電話06-6947-1912)まで。

石油・化成事業 売上高11%減

阪和興業3Q

阪和興業が先ごろ発表した第3四半期(4月12月の決算概況)によると、セグメント別で石油・化成品事業は71億増の280億円、経常利益は75億円、純利益は290億円、純利益は67億増の203億円となった。

また、グループの平均レートは米が2.95円、セグメント利益は輸入日用雑貨品販売の利益減少で19億減の15.0億円となった。冬期のみ(10月12月)は、

セグメント利益 21%増0.7億円

タフク3Q

ダイフクが先ごろ発表した第3四半期(4月12月)連結決算によると、ダイフクは、政府の補助金政策を背景にSS向けが好調であることや、ディーラーなどから1・アフターマーケット向けが底堅く堅調に推移したため、売上高は33億増の86.8億円、セグメント利益は21億増の0.7億円、受注高は5億増の86.9億円となった。10月12月のみでは売上高は5億減の31.3億円、セグメント利益は13億増の0.6億円。

だと5%減の64.8億円、セグメント利益は10億減の8.2億円。なお、連結では売上高は鋼材や金属資源の価格が高水準にあったことから19%増の1兆3066億円、営業利益は金属原料事業の増益で15億増の188億円、経常利益は為替差益発生で15億増の174億円、純利益は特別損失が減少し21億増の11.8億円。

計量機・ローリー 買い取ります!

不要になった計量機・ローリー・コンプレッサー等をぜひ当社へお売りください

全国どこでも出張買取 見積無料

買取対象品目
固定式計量機・ローリー・ノンスペース計量機・POS・ポータブル計量機・釣銭機・コンプレッサー・パキュームクリーナー 他

日本スタンドサービス株式会社
大阪本社 〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17 TEL.072-968-2211 FAX.072-968-3900
東京営業所 〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6 TEL.03-5721-4789 FAX.03-5721-4787

当社は、計量機検定/修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。

無料お見積り・お問い合わせは 0120-016-889

◆ホームページ <http://www.nssk.co.jp/>
◆楽天市場店 <http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/>

日本スタンドサービス 検索

